



まにわ

湯川公会堂(宮地)



富原公民館(若代)



184人が参加

ざつくばらん
に語ろう



関連記事を
3ページに
記載しています。

年頭のごあいさつ



議長 長尾 修

市民の声を議会の力に

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

市議会では、市長への政策提言を行うべく、政策討論会を予定しております。昨年から精力的に行ってきました先進地視察や各種団体との意見交換により、見えてきた本市の現状と課題を踏まえて、市民生活向上のための施策等を検討してまいります。

また、議会活性化推進特別委員会や、その中の小委員会、部会も積極的に活動しながら、研修会等を開催していくほか、市議会主催の講演会も計画しております。

議員一人ひとりが一層の努力と研鑽を重ね、皆様の信頼に応えられるよう全力で取り組んでまいりますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様方にとりまして幸多き年になりますよう、ご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。



副議長 繁形 尚

真庭の未来創造 ともに歩む一年

新しい年を迎え、市民の皆さんに心からのごあいさつを申し上げます。

昨年も、地域の課題や災害への備えなど、さまざまなお出来事がありましたが、皆さまの温かいご協力のおかげで真庭市は一步ずつ前へ進むことができました。本当にありがとうございます。

今年も副議長として、市民の声をしつかり受け止め、議会が皆さまにとって身近で頼れる存在となるよう努めてまいります。子どもたちが夢を描けるまちづくり、高齢の方が安心して暮らせる環境づくり、そして地域の魅力を活かした産業や観光の発展など、皆さまと共に取り組んでいきたいと思います。

「市民と共に歩む議会をめざして」を合言葉に、笑顔あふれる真庭の未来を築いてまいります。本年が皆さまによう心よりお祈り申し上げます。

議会運営委員会

本年も、議会運営委員会は、円滑かつ公正な議会運営に努めてまいります。議会は市民の負託を受けた意思決定の場であり、その責任は極めて重いものであります。私たちは、議員間の建設的な議論を促進し、執行機関との健全な緊張関係を保ちながら、市民の声を的確に市政へ反映させるため、委員一同、誠心誠意取り組んでまいります。

今年も副議長として、市民の声をしつかり受け止め、議会が皆さまにとって教育・子育て・福祉など市民生活に直結する課題に向き合い委員間に自由闊達な討議を大切に委員会活動を行いました。今年は先ず、昨年行ってきた行政視察と、「切れ目のない障がい者支援」事業者との意見交換の中から、政策提言のテーマを決定し市政に提言を行います。今年も公平性と持続可能性を重視、わかりやすい委員会運営を行います。



伊藤委員長

文教厚生常任委員会

公平性と自由闊達な討議を

2025年は、新人議員を迎えて教育・子育て・福祉など市民生活に直結する課題に向き合い委員間に自由闊達な討議を大切に委員会活動を行いました。今年は先ず、昨年行ってきた行政視察と、「切れ目のない障がい者支援」事業者との意見交換の中から、政策提言のテーマを決定し市政に提言を行います。今年も公平性と持続可能性を重視、わかりやすい委員会運営を行います。



妹尾委員長

総務常任委員会

政策提言に向けて

明けましておめでとうございます。

総務常任委員会では、「若い世代の市政への参画推進」、「公共施設等の集約・縮充」をテーマに研究を続けております。特に、「若い世代の市政への参画推進」は、人口減少が進む真庭市において、若者の市政への積極的な参画こそが、真庭市の持続的な発展には不可欠であります。若者との意見交換をどんどん進めてまいります。



妹島委員長

産業建設常任委員会

生活インフラの整備と充実

物価の高騰が続く中で市民の皆様の生活は、一段と厳しいものとなつた一年であったと抨察いたしました。今後も経済の動向は予断を許しませんが、産業建設常任委員会は市民生活を守るため、産業の振興・発展、生活インフラの整備・充実に向け引き続き取り組んでまいります。



庄司委員長

本年が市民の皆様にとって良き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

ざつくばらんに語ろう 開催

12会場に市民184人参加

二次元コードから各班の報告、アンケート結果をご覧ください



1班

班長 黒川 愛

暮らしの基盤 充実を

八束、北房、余野の3会場に伺いました。三座館では高校生が参加し、通学や寮生活、公共交通など率直な声をいただき、地域住民の方と一緒に意見交換ができました。北房や余野では、生活や地域を支える立場からの意見が多く寄せられました。会場ごとに参加者の年齢や立場は異なりましたが、防災や公共交通、子育て、農林業、福祉など、暮らしの基盤を守り、地域の魅力を高め、次の世代につなげたい思いは共通していました。ご意見は共有し、議会活動に生かしてまいります。



真庭高校蒜山校地三座館 蒜山上長田

2班

班長 妹尾智之

落合・富原・美川へ

「ざつくばらんに語ろう」をテーマに落合小学校区・富原小学校区・美川小学校区の3小学校区を訪問し延べ39名の方の参加を頂き、各会場において、真庭市が抱える問題点が浮き彫りになっています。我々議員も「二元代表制」の一翼を担うため、住民代表として、各会場でいただいたご意見を基に、市政反映と執行部への「チェック機能」の強化を図り、市民の負託に応える事が重要であると痛感させられました。今後も市民の皆さんから信頼が得られるように、開かれた議会を目指して参ります。



ハイランド落合 下市瀬

3班

班長 伊賀基之

もっと市民の声を聞きたい

鹿田、月田、二川とも、終始熱心に質問し、意見を述べてくださいました。人口減少・少子化、地域活動の担い手不足、道路整備や空き家問題など共通した問題、学童保育の定員オーバー、子どもの遊び場不足、野良猫対策、墓地移転の難しさなど、その会場ならではの意見、そして避難所の備蓄食品の活用や「まにあぶり」の多様化など、多くの提案もいただき、議員それぞれの課題ともなりました。要望事項などは、市に伝えています。来年度はさらに多くの方の声を聞きたい。



鹿田公民館 鹿田

4班

班長 加藤大悟

人口減少や子育て支援

4班は10月25日北房地区、26日川東地区、11月1日草加部地区の3地区で実施しました。

北房文化センターでは人口減少と農家減少、子育て支援、多岐にわたる課題が議論されました。

川東の野川公会堂では少子高齢化や人口減少、自治会活動の維持困難が課題として挙げられました。

草加部小学校においては農業用水補修や河川堤防の草刈り問題などが意見交換されました。



北房文化センター 上水田

ご参加ありがとうございました

12

令和7年12月第5回真庭市議会

M
G
ANIWA
IKAI

12月定例会

会期12月2日～12月18日

12月議会の会議録は令和8年3月上旬、
ホームページ及び議会事務局で閲覧できます

今回の一般質問は16人

【主な内容】

- 議案20件を可決 ●補正予算9件を可決
- 請願1件・陳情1件を不採択、陳情1件を採択
- 発議4件を議決

予算は千円単位ですが、見やすくするため
万円表記にしています。千円を四捨五入。

令和7年度12月補正予算

16億4,332万円を可決しました 一般会計補正後 355億8,759万円

12月補正額

補正後予算額

対前年比

一般会計 14億6,146万円 355億8,759万円 5.9%減

特別会計 1億8,196万円 127億1,351万円 0.5%増

公営企業会計 △10万円 77億8,105万円 1.1%減

令和7年度補正予算会計別集計表

会計名	12月 補正額	12月補正後 予算額
一般会計	146,146	3,558,759
国民健康保険特別会計	△510	492,456
後期高齢者医療特別会計	△54	91,075
介護保険特別会計	17,205	660,657
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	383	7,253
浄化槽事業特別会計	0	3,512
津黒高原観光事業特別会計	0	2,714
クリエイト菅谷事業特別会計	0	1,029
温泉事業特別会計	1,173	12,655
特別会計合計	18,196	1,271,351
水道事業会計	△10	230,163
下水道事業会計	0	389,254
国民健康保険湯原温泉病院	0	158,687
事業会計		
公営企業会計合計	△10	778,105
合計	164,332	5,608,215

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります

老朽化している救助訓練塔の更新
新5億3,065万5千円計上

総務費では、東京圏から真庭市への移住者に対して移住支援金を交付する交流・定住推進事業560万円、個人番号カードの交付等に係る統合端末の更新を行う個人番号カード交付等事業781万7千円を増額します。民生費では、事業所の開設に伴う児童発達支援事業の利用者増加により障害児通所給付事業1,479万6千円を増額します。土木費では、切れ目ない人口減少対策として空家の購入や改修等に対する補助を行う空家活用推進事業700万円を増額します。消防費では、消防体制の充実強化のために老朽化している救助訓練塔の更新を行う消防車両・施設等整備事業5億3,065万5千円を増額します。災害復旧費では、令和7年9月豪雨により被災した農地を早期に復旧する農地災害復旧事業1,030万円を増額します。公債費では、後年度の財政負担軽減を目的とした臨時財政対策債の繰上償還元金6億3,865万2千円を計上します。



更新する救助訓練塔(パース図)

一般会計
主な歳出

中山間地域における医療体制の維持に資する診療報酬制度の見直しを求める意見書の提出

中山間地域の住民が安心して医療を受けられる体制を維持するためには、地域の地理的条件や医療資源の制約を踏まえた診療報酬制度への見直しが急務であるため、国及び県に対し意見書を提出するもの。全会一致で採択され衆議院議長ほか6名に意見書が提出されました。

中山間地域における医療体制の維持に資する診療報酬制度の見直しを求める意見書の提出

人権尊重の精神に基づき、議員による全てのハラスメントを未然に防止し、根絶するため、条例の制定を行なうもの。全会一致で採択されました。

発
議

真庭市議会議員のハラスメント防止に関する条例の制定
〔採択〕



總務常任委員會

本委員会は、9月17日、11月13日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

『政策推進監兼学びの創造推進監』



こども園整備予定地 中島

る範囲を新たに使用貸借するため、所有者である岡山県と使用貸借変更契約を締結しました。未来をつくる交流ゾーンと、こどもはぐくみゾー

政策推進監付から、旧真庭高校久世校地利活用の進捗状況について説明がありました。

ンでは、久世公民館の仮移転、こども園整備に伴う工事に着手したところです。

事業計画を1件進めるごとに
変更契約をしていくのか。

問 大学生が勉強できたり、林業木材産業関連の新しい分野を開発をしたり、色々な方がやってきたりする事業という理解で良いか、計画の段階から専門家に入つてもらえるとさらに良いのでは。

市全体で公共施設、行政機能の在り方を議論することが必要になっています。まずは、市全域をカバーする、中核である久世地域への配置整備を検討します。

このため、外部有識者を含む検討会議を立ち上げ、公共施設に望む機能や課題などについて意見をいただいたところです。今年度、計3回の会議を予定しており、上位計画や基本構想等との整合性を踏まえながら、一定の方向性を示せるよう進めていきます。

見が各地のエリアで出ており、不安に思っている市民の方に、できる限り配慮していただきたい。

委員長 妹島弘和 委員 黒川愛
田島吉章 柴田庄志

■公共施設の整備方針について

専門家についても岡山大学とさらに連携しながら、計画段階から関わってもらい、検討を進めていきたい。

■公共施設の整備方針について

政策推進監付から、久世エリアの公共施設の整備方針について説明がありました。

市全体で公共施設、行政機能の在り方を議論することが必要になっています。まずは、市全域をカバーする、中核である久世地域への配置整備を検討します。

このため、外部有識者を含む検討会議を立ち上げ、公共施設に望む機能や課題などについて意見をいたしました。今年度、計3回の会議を予定しており、上位計画や基本構想等との整合性を踏まえながら、一定の方向性を示せるよう進めています。

久世に集中している、蒜山に集中しているというような意見が各地のエリアで出ており、不安に思っている市民の方に、できる限り配慮していただきたい。

今は調整の段階であり、個別の施設の活用の在り方については、久世地域以外の方に対してもういう機能を提供できるか、久世地域の方にどういう機能を提供できるか、できる限り多くの皆さんに意見をいただき、施設の再配置整備に努めていく。

産業建設設常任委員会

委員長	庄司 史郎	委員	福島 一則
副委員長	西田 文子	委員	村上 善彦
委員	小田 康文	委員	吉原 啓介
委員	長尾 修		

本委員会は、9月19日、11月12日を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

〔建設部〕

■市有地を活用した民間賃貸住宅整備促進

市内の賃貸住宅では築後20年以上経過したものが多く、若者や子育て世帯が魅力を感じる物件が少ない状況が続いています。本事業では民間事業者による遊休市有地等の整備、運営を支援し、若者の流出抑制と遊休地の有効活用を目的としています。

令和6年度に実施したサウンディング業務では、遊休市有地等7か所の活用可能性を調査し、市内外5社から敷地ごとのニーズや間取り、家賃、事業スキーム等の意見をいただいています。

調査個所のうち、勝山法務局跡地など4か所は事業化が見込めるため事業を進め、湯原旧いこいの家跡地は多目的な用途も含め保留、2か所はニーズが見込めないため活用を見送ります。



法務局跡地 勝山

今後は4敷地について関係機関と協議し、土地の評価額算定や条件整理を行い、払い下げが可能なものは入札又はプロポーザルで、賃貸借とする敷地は有償又は無償貸付けにより事業者を決定し、早期の整備を目指します。

問 この事業を進めるにあたり、どのような事業スキームを考えているか。PFI等を考えているか。

答 今のところPFIは考えていません。まずは買って建ててくれる業者。徐々に緩和し、プロポーザル等も検討していく。

■蒜山振興局川上出張所の廃止
川上出張所は、平成7年に建てられた川上保健センターの一部を利用して、平成19年12月から業務を行ってきました。

しかし、近年は来所者が減少しており、令和6年度の証明発行や使用料収受などの処理件数は713件であるものの、実際の来所者数は469人で、開庁日で割ると1日平均1.9人という状況です。

こうした利用状況を踏まえ、出張所機能を蒜山振興局に集約し、経費削減と業務の効率化を図り、市民サービスの持続と向上に努めたいと考えています。

今後の予定は、来年1月から3月に市民の皆さんに周知し、令和8年4月1日に川上出張所を廃止して蒜山振興局へ統合する予定です。
問 川上出張所を廃止した後の施設利用について、どのように検討されているか。



廃止する川上出張所

答 近くにコンビニエンスストアもあり、一定の料金收受や、一部の証明書発行などが可能である。徒歩で来所されていた方には、まにわくんなどを利用して振興局に来らうようになる。

問 来所者は今後振興局へ行くようになるが、移動手段の確保に問題はないか。

答 基本的には川上保健センターの機能としての建物であると考へている。現在の出張所部分の活用については、今後検討していくたい。

答弁者



三ツ宗宏教育長 太田昇市長

私はなつて食糧費は50%にしました。皆さんは意見を聞いても、自分が食べる物だから他のものでちゃんととしてもうれ

答
太田市長

補助率2分の1となってい
る食糧費、食材費について、
物価高騰により今までと同
様に食材を購入して調理す
ることが難しくなっている。
活動にも影響が出てきてい
る。物価高騰を考慮し、市
民が使いやすいように規定
の見直しができないか。

問
庄司史郎



地域づくり補助金交付規程見直しを

ばよいという意見が多くあった
と思う。それは皆さんで樂しくやるとして、それでいいと思
っている。

一般質問

12月定例会の議事録は
3月上旬から閲覧できます

・次元コードをスマート等で読み取ると、一般質問が視聴できます。

・一般質問の記事は、個人質問は800字以内で、質問した議員本人がまとめています。

放課後児童クラブの施設の改善を

問

グリーナブル蒜山効果の見える化を

グリーナブル蒜山は地域
価値の向上など目に見えない効果があると言われたが、
市民に効果を実感してもらえる取り組みが必要では。

答
太田市長

放課後児童クラブの施設
で、旧保育園を使用しているところについては、耐震化も
できおらず、施設の老朽化
の問題も抱えている。市として
対応策を検討する必要があると
考えるがどうか。

それぞれのクラブが色々な
問題を抱えているが、できる限

答
太田市長

放課後児童クラブの施設
で、旧保育園を使用しているところについては、耐震化も
できおらず、施設の老朽化
の問題も抱えている。市として
対応策を検討する必要があると
考えるがどうか。

それぞれのクラブが色々な
問題を抱えているが、できる限

グリーナブル蒜山の取り組みが環境省の環境社会イノベーション賞、スポーツ府のスポーツ府長官賞を取るなど、その影響の中で色々なものが出来て来ている。あの建物が消えたら、あそこの地域がどういうものになるかを考えていた
だいただけで分かると思う。



児童クラブきらりズ天津 福田

問

真庭市議会、議員の生成AI利用率100%

11月19日、ICT部会主催による「生成AIハンズオン研修」を開催しました。僭越ながら田島議員と私で講師を務めました。

現在、技術をどのように受容すべきかといった理念的な内容から生成AIに関する動向などの時事的な内容、生成AIの仕組みやリスクといった技術的な話まで短時間ではありませんが、網羅的に概説し、学ぶことができました。

単に話を聞くだけでなく、身近な素材からフェイク画像や動画が作れることを体験的に学ぶことができました。その後は、実際に手を動かして生成AIを使ってみるハンズオン(実習)研修を実施しました。みんなで助け合いながら文章生成といった定番の内容から音声でのAIとの対話、資料の読み込みと要約その他の生成、画像などのアナログデータとその他サービスとの連携を実際に体験することができました。一種類の生成AIサービスに依存するのではなく、複数のサービスが存在すること、そしてそれらを場面に応じて使い分けることも知りました。

生成AIは、メガネや言語、自動車などと同様に人間の能力を

拡張してくれる技術です。自動車やインターネットが私たちの生活や社会の様式を変容させたように、生成AIも私たちの生活や社会を変化させるでしょう。生成AIを「魔法」というようにと



AI研修の様子

らえている人がいますが、これは間違った認識です。生成AIは、それを使う人間の思考や創造/想像を反映する鏡です。

35歳から76歳まで幅広い世代を内包する真庭市議会ですが、この研修を通じて生成AIの使用(経験)率は100%となりました。これをきっかけとし、生成AIをどのように使っていくかが今後の課題です。膨大な資料の整理や定型業務を生成AIと協働して効率化することで、私たち議員は本来注力すべき「市民との対話」や「深い政策議論」に、より多くの時間を充てることができます。デジタル技術を適切に使いこなし、議会活動の質を向上させていきます。生成AIに振り回されるのではなく、生成AIと協働する議会として。

奥 侑樹

広報編集委員会のフェイク画像



黒川 愛



乳幼児健診の状況

市の乳幼児健診は回数や種類は充実しているが、健診がつらい・強い不安を感じる・涙を流す保護者や子どももいる。全国調査でも自治体と当事者のギャップがある。

特性のある子への対応や配慮は、発達発育の専門家のアドバイスを求めていく必要は、個別が良くなつたからいいではない。誰にとつても、安心できる健診の実施を。

答 太田市長

必要な工夫があればそれもやって、より有益な健診を行う。窓口に来て、個別の状況を伝えていただければ、対応していきたい。

答 神庭健康福祉部次長

現時点で不足し困っていることはない。問診や共有で個別配慮している。

対話・協働への取り組み

振興局などに対話の場づくりを。学習スペースにもなる。

問

女性活躍という言葉に違和感との意見もあった。性別平等が方向性を議論し、計画で示していきたい。

答 金谷生活環境部長

多様な生き方、自分らしく地域で働く姿を見せてくれるロールモデルの存在は、将来像を描く手がかり。若い世代、特に女性にとってロールモデルがなかなか見当たらないのは課題。

答 太田市長

話し、考える授業を大事にしている。対話と協働が生まれる土台を常に考えなくてはいけない。

女性のロールモデル

若年女性の流出が地域の人口減少を加速させる要因とされている。県の調査で、真庭市の高校生男子は自己効力感や本来感が平均より高い、女子は平均より低い。

答 三ツ教育長

対話の場づくり、公共施設で積極的に進める。

答 太田市長

威嚇目的で使用することが出来る。エアガンの導入支援をモデル地区で実証する考え方はないか。



机と椅子が新たに設置 落合振興局

鳥獣害対策に複数の追い払い手段を

答 太田市長

鳥獣害対策は、地域ぐるみでやつていかないと駄目。柿の木などをなくしてバッファーボーンをつくるのが有効な方法。餌場をなくすことでも考えていただきたい。



エアガンでサルの追い払い威嚇 田原山上

今までいいと思つていない

問

真庭市の公共交通は移動手段として十分に行き届いておらず、交通空白地帯が存在する。停留所までの距離が遠い方もいる。

答 太田市長

①デマンド交通の関係は切実な問題。今までいいとは思っていない。

②電動モビリティーは注目されている。車内に持ち込める小型軽量化はまだないという中で、今の時点で購入支援制度を設ける考えはないか。

真庭市の公共交通は移動手段として十分に行き届いておらず、交通空白地帯が存在する。停留所までの距離が遠い方もいる。

緒形 尚



車中泊を含む1泊2日の中避難訓練を実際の災害時には、感染症への不安、プライバシーの確保、家族構成や生活習慣の違い、ペットを伴っているためといった理由から車中泊避難を選択する市民は、一定数存在する。

車中泊避難を選択する市民がいることを前提に、健康新聞防止のための啓発や支援、情報伝達の工夫を行う必要がある。ペット同伴避難について、「ペットに抵抗がある人」と「ペットを家族と考える人」との間で調整が必要である。車中泊避難者との間で調整が必要な場合も想定され、車中泊避難を選択するケースも起これり得る。車中泊避難者への支援を検討することは重要な課題であると考える。以下、市長に伺う。

①車中泊避難者を避難所利用者と同等に扱うのか。
②車中泊避難者に対してもどのように情報届け、安否確認を行い、避難所内の支援



グランドに並ぶ避難車両 熊本市

と連携させるのか。

③自助、共助を基盤とした自主防災組織との協働による実地型の1泊2日の避難訓練を実施することを検討するべきと考える。

答 太田市長

実際の災害時には、感染症への不安、プライバシーの確保、家族構成や生活習慣の違い、ペットを伴っているためといった理由から車中泊避難を選択する市民は、一定数存在する。

①避難所を利用する際に記入する避難所利用者登録において、車中泊である旨を記入する。その方は、避難所内に避難者と同等の情報や物資の提供等を受けられる。

②車中泊避難者への情報伝達は、通信可能な環境であれば携帯電話による伝達、不可な環境であれば車両まで出向いていく。行政職員、

決算剩余金の現状と活用



田島 吉章

令和6年度一般会計の決算剩余金は、歳入決算額の約3.5%に相当する13億6,300万円であった。剩余金の発生は、必要な行政事務が執行されなかつた可能性を指摘されることもある。現状の受け止めと活用の方針について伺いたい。特に、歳



真庭市地域公共交通計画マスターplan

避難者及び地域住民との連携によって役割分担をして情報伝達をする。また、エコノミークラス症候群とかいろいろあり、定期的な巡回等によりリスク回避とか状況把握に討するべきと考える。

避難者及び地域住民との連携によって役割分担をして情報伝達をする。また、エコノミークラス症候群とかいろいろあり、定期的な巡回等によりリスク回避とか状況把握に努める。

答 今石危機管理監

③非常に有効な手段であると思う。市も、様々な訓練を今まで行っているが、発災時は、幾らマニュアルで規定していくも想定外のことが起こり得る。前向きに訓練に取り入れていきたいと考えている。

入と実質収支の差は他自治体より大きく、標準財政規模に対してかなり多い基金積み立ての主要財源になつてゐると思われる。積み立てルール等も確認したい。

答 太田市長

剩余金には、安全な予算

計上、執行段階での精査のほか、税収・交付税等歳入見込みの不確定性や事業見直し、入札残や自然災害等外的要因によるものも含まれ、事務が適切に執行されなかつたのではないか。剩余金は、地方財政法に基づき、将来負担軽減のための地方債繰上償還と将来の財政需要に備える基金積み立てを行い、残額を住民サービスの維持向上に使うこともある。特別交付税は不安定で数%は誤差。テクニカルの問題もある。市の財政構

造は変わつてきており、純粋に計算すると赤字である。財務体質を変えなければいけない。

期戦略 姫新線経営状況と次



JR西日本公表の2022年度平均営業収支では、姫新線の収支状況は一段と悪化し、特に中国勝山→新見間は全国的にも極めて厳しい水準にある。現状の受け止めと次期戦略について伺いたい。場渡り的でない計画性と科学的なアプローチについても考え方を伺う。

答 太田市長

収支状況は厳しい水準にあり、重く受け止めている。個人プレーに近いこともやつており、誤解を招く可能性があるが、本来は県の問題。現在策定中の地域公共交通マスターplanで利用推進を積極的に取り組んでいく。

妹島 弘和



日本の総合経済対策を最大限活用



市民に対しても尋常ではない物価高騰の負担軽減を図ることが喫緊の課題である。

現時点では、経済政策の規模、内容は未確定であるが、市長に伺う。

① 食料品の値上がりで家計に与える影響が大きい子育て世帯、住民税非課税世帯をはじめ市民への直接支援はどう考えていくのか。② 原材料の高騰、最低賃金の上昇の影響を大きく受ける地元事業者への対応は、どう考

①国の総合対策における臨時交付金を最大限活用する。ただ、児童手当を一律2万円配るが、儲かるのはIT関係の会社だけである。また、考えられない手数料を取るお米券は、慎重に考える。市としては、県の支援内容とも整合を図り、対症療法的

答 太田市長

眞庭市は、いじめはぐくみ
応援プロジェクトという画
期的な取り組みを打ち出し
ている。その中で経済的な支
援として、給食の一部助成や
「こども医療費無償化など政
策が実行されている。だが真
庭市においては、おむつ支援
は実施されていない。

構想 第2バイオマス発電所

乳幼児の紙おむつ支援について

問 経営革新の応援補助金など、人件費高騰や人手不足などの恒久的な課題に生産性の向上等によって乗り越えていく努力もしていただきたい。中小企業庁の補助制度などを商工会と協力しながら対応していく。

点で具体的な検討を早急に進める。
②最低賃金は今後も上がる。中小企業者に対する手当ては必要と用うが、国の経済対策であり、私どもは補完的位置づけで



現在の裏庭バイオマス発電所 目木

市内の若い夫婦からもおむつ支援があれば本当に助かるという声をよく耳にする。より直接的に経済支援が届く手段として有効である。いざなはぐくみ応援プロジェクトを、より有効性のあるものとするために、おむつ支援を新たな支援のメニューとして導入してはどうか。

答 太田市長



子どもと直庭市の輝かしい未来のために

では、おむつ代も含めた出産育児等には、出産・子育て支援はぐくみ給付金を妊娠時に5万円、出産時に5万円支給している。今の時点で7回新生児の健康診断をしていく。岡山県では最高水準である。真庭市で子どもを産みやすい、それが実感できるようなことを中心に、こどもまんなか政策を進めていきたい。

妹尾 智之



リチウムイオン電池の廃棄は



火し、大規模な火災事故につながったと見られるケースもある。近年、リチウムイオン電池が原因と見られるごみ処理時の火災事故等の発生件数は増加傾向にある。

①市としてリチウムイオン電池に起因する火災の危険性をどのように把握しているか。

②現在、真庭市内でのリチウムイオン電池の回収方法はどうなっているか。

③市内各自治会、また市民への広報の強化をどのように進めていくか。

答 太田市長

①小型で軽量でエネルギー効率が高いというメリットがあるため、様々な製品に多く使われており、製品の過充電

谷本 彰良



本庁にある小型家電回収ボックス

①子育て世帯の移動支援として、チャイルドシート付き電動アシスト自転車の購入補助制度を創設する考えはないか。②中山間地域における中学生の通学用電動アシスト自転車の購入補助制度と、高校生になつても使い続けられる通学ヘルメット

持続可能な移動手段確保を

①の補助額を増額できないか。
②通学環境の改善について重要な問題と認識してお
り、地域ごとの環境に応じた
輪の先進地を目指す考えはないか。

答 太田市長

①真庭市内ではほとんど
の家庭が自家用車で通園して
おり、地形や雨の日、荷物の多さなどを考慮する
徒歩や自転車等で通園される世帯はかなり限られて
いる。子育て支援アンケートでも購入補助を求める要望は
なく、現状では創設する考
はない。ただし、低所得の方
に対してなど、格差社会の是
正という観点は、これに限らず、考
えるかもしれないが、今の時点では個
別補助は考えていない。③特定小型

四輪は技術革新で
安全性も向上して
いるが、真庭市は
歩道もほとんどなく危険であり、市として推奨も、現
時点で補助も考
えていない。



チャイルドシート付電動アシスト自転車と
軽くて涼しい通学用ヘルメット

答 三ツ教育長

②通学環境の改善について
は重要な問題と認識してお
り、地域ごとの環境に応じた
輪の先進地を目指す考えはないか。
③高齢者の免許返納後の移
動支援として、特定小型四
輪の購入補助と小型特定四
輪の先進地を目指す考えはないか。

③真庭の暮らしに即した
移動環境を研究していく。

答 橋口健康福祉部長

問

柴田 正志



公共施設ウェブ予約システム

①今年10月1日からの新しいウェブ予約システム（岡山県共通）導入にあたり、主な体育施設全てを対象となりました。

設が対象外となっているのか。②なぜ文化施設が対象外となっているのか。③真庭市全体で共通のシステムで対応することが正しい施設管理の在り方と考えるがどうか。④施設利用料の支払いに「まにこいん」を使えるようにできないか。

答 太田市長

①県のシステムは多機能だが施設ごとに利用料がかかる。現在、利用の多い落合・久世・勝山のスポーツ施設で導入している。その他の施設は真庭市の来庁予約システムで北房から運用を始め順次蒜山・湯原などのスポーツ施設についても準備を進めている。②文化施設は早い段階で運用できるよう検討をしている。③システムが2つに分かれているが今後は出

来る限り市のシステムに統一していくたい。④まにこいんの利用は落合総合公園・エスパス・水夢・アバレー・風の家・醍醐の里でできる。未対応の施設は順次拡大していく。

問

緊急銃猟マニュアル

①このマニュアルを作ろうと決断したのは何故か。②今年度中に作成するということだが、獣友会はどういった立ち位置になるのか。

答 伊藤産業観光部次長

ライフル銃を持つている方がどこにいて対応可能なのか、連絡体制などを今協議している。



令和7年度クマ出没マップ 出典：岡山県HP

傍聴

真庭市議会の本会議・常任委員会を間近で傍聴してみませんか。

真庭市議法を改正し、この制度を作った段階で、直近ではなく将来に向けてどういくことを準備していくかなければならないか考える意味でもきちんと作ることが大切である。②クマが出た時に、どの獣友会の分会の方に対応してもらうか、

議場開放第2弾



議場で自習する学生

夏休み期間中に実施した議場を学習室として開放した第2弾として12月22日から1月30日までの冬休み期間（平日開庁日、12月27日から1月4日除く）も議場を開放しました。冷暖房も完備され静かな空間で勉強に集中できると好評でした。今回は、大学生にも対象を広げて実施しました。今後も継続していきたい事業です。

総務・文教・産建委員会が先進地視察

総務常任委員会

若者の参画を視察

若者の参画について、先進地である川崎市と相模原市を視察しました。川崎市では子ども・若者の“声”募集箱で小学4年生から18歳までの意見をホームページで収集する仕組みを学びました。また「ワカモノ未来PROJECT」ではNPOへ事業委託し、若者団体とイベントなどを実施する取り組みを学びました。相模原市では学生企画の「おいでよ 南区Happyたまご祭り」、「まちづくりのトリセツ」の制作、自治体主催の「青祭（ブルーフェスタ）」などの企画を、12名の若者会議が中心となって取り組んでいることを学びました。今回の視察では真庭市に若者の参画を推進するヒントが多く興味深いものでした。



視察の様子 川崎市

文教厚生常任委員会

関東の先進地に学ぶ

政策提言に向けた調査研究を進めています。学童保育、不登校支援、子どもの権利について先進事例を視察しました。埼玉県上尾市では、NPO法人による学童運営の一括委託が複雑化する事務を解消し、市内全域で保育水準を均一化させていること、保護者会運営からの移行には横断的な議論が必要であることを学びました。神奈川県大和市引地台中学校分教室では、「学校復帰ありき」ではない学ぶ・生きる意欲の充填を支援する実践を視察しました。東京都目黒区「子ども条例」からは、子どもを権利主体として尊重することを明文化する重要性について聞きました。これらの知見を活かし「子どもが主語」となる政策提言に向け引き続き調査研究を進めます。



視察の様子 引地台中学校分教室

産業建設常任委員会

地域新電力会社を視察

11月17日から18日、産業建設委員会では岩手県八幡平市にある(株)はちまんたいジオパワーと松尾八幡平地熱発電所と道の駅にしねの視察を行いました。はちまんたいジオパワーでは地域新電力会社が民間事業者のノウハウと資金力を取り入れた事業運営の説明を受けました。

松尾八幡平地熱発電所では地域発電は昼夜を問わず安定して電力を供給できるベースロード電源であり、低脱炭素化推進においても有効であるなどの説明を受けました。道の駅にしねでは、直売所は指定管理者が運営し年間売上は2億円を超える、地元特産品を使った商品や食材の提供にも力を入れているということでした。



エネルギーについて学ぶ 八幡平市役所

産建委員会は市内視察も

12月定例会に上程される指定管理施設、北房なかつい陣屋と旧菅野邸、湯原温泉民俗資料館、下湯原温泉露天風呂、真庭市ひまわり館、真庭市蒜山なごみの温泉津黒高原荘と周辺施設、真庭市神庭の滝自然公園を視察しました。どの施設も管理者の方の努力を感じましたが、維持していくための課題もあります。それぞれ特色ある施設なので、現状の取り組みにあと少し無理のないものをプラスしていただきたい。



説明を受ける様子 湯原温泉民俗資料館

GIKAI NO UGOKI

議会の動き

10月 11月 12月編

各常任委員会が市内高校生と意見交換会 総務委員会は勝高生と

勝山高校生との意見交換では、普通科以外の学科新設、体育館のエアコン・Wi-Fi整備、土日のスポーツセンター利用、まにわくん定期券の創設や、まにこいんでの乗車、アルバイトの解禁など多様な要望が出た。

特に「夢現プロジェクト」では高校生と市が協力する取り組みもあり、主体的な挑戦を後押しし、生徒のモチベーション向上に大きく寄与していると評価された。



意見交換会の様子 勝山高校

文教厚生委員会は蒜山校地で

蒜山校地の良さは、少人数で学ぶことができて、先生との距離も近く、生徒の「やりたい事」が実現しやすい環境が整っている。また、スキーパー部や馬術部といった蒜山ならではの部活があり、県外からの生徒も多く、交流がしやすい。要望としては、教室にエアコンが欲しい、通信環境を良くする、街灯を増やす、バスの本数、下校時のダイヤ、バス停の位置について考えてほしい、寮の食事を週末だけでも地元の人に作って欲しいなど。CP（探究学習）が楽しい、とのことで、生徒がいきいきと自分らしく高校生活が送れているところが蒜山校地の強み。



意見交換会の様子 勝山高校蒜山校地

産建委員会は議場で真庭高生と

真庭高校を志望した理由は、将来起業したい、家の農地を守る、地域と協力ができる、食品等を生産し販売できる、家から通学できるなど。

意見・要望は、白梅寮を快適なものに建て替えて欲しい、土日も居られる寮にして欲しい、登下校時間に合う公共交通便が無い、落合駅に学習スペースを設けて欲しい、バスを待つスペースが無い、農業実習をする圃場が狭い、高校の日常や行事をソーシャルメディアで発信して中学生に情報を得てもらいたい。

後輩に薦めたいことは、育てる楽しさや行事が沢山あること、資格や免許の取得ができること。



意見交換会の様子 本庁舎4階議場

▶焼芝(龍神の舞い) TOTORO



6月定例会の請願・陳情は4月30日(木)まで

6月定例会の請願と陳情の受付は4月30日(木)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見

や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

ホームページをご覧ください



ホームページ

フェイスブック

3月定例会は 2月20日(金)から3月24日(火)

3月20日(金)	本会議(開会・議案上程、提案説明)
3月21日(土)	本会議(一般質問)
3月22日(日)	本会議(一般質問・議案質疑)
3月23日(月)	予算審査特別委員会
3月24日(火)	本会議(委員長報告・採決・閉会)

会議は通常午前9時30分に開会します。正式には2月12日(木)の議会運営委員会で決定します。

問題

「ざくばらんに語ろう」の
参加者は○○人



正



パウンドケーキ

解者の中から6人に「パウンドケーキ(ココアか抹茶)」(コストモスワーカ)が当たります。はがきに答えたあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
締切…2月28日(土)消印有効。
前号の応募総数は52通で、正解者は51人でした。ご応募ありがとうございました。

改めまして、明けましておめでとうございました。今年は、午年、大きく跳ねる1年にしたいものです。

愛される広報紙を目指して



真庭いきいきテレビ をご視聴下さい

真庭市議会定例会は真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。

一般質問や各常任委員会付託案件審査は、録画して後日放送しています。

GIKAIHEADLINEは、真庭いきいきテレビYouTubeチャンネルで定例会閉会2週間後から2週間視聴できます。

私自身、広報紙に携わって5年になります。今後も分かりやすく見て楽しい広報紙を目指して広報委員共々頑張って参ります。皆様も市民の広場にご意見、写真など何でもかまいませんので送ってきていただければ幸いです。クイズの景品もあるべく多くの人に喜んでいただけるように景品選びにも気を使って参ります。(文責 森脇)

実施報告書は、3ページ一次元コードを読み込むとご覧いただけます。

改めまして、明けましておめでとうございました。今年は、午年、大きく跳ねる1年にしたいものです。